

はたけだより

畑仕事と大地の恵み

畑に足を運び、大人と子ども（年長児）が共に土にふれ、「作物を育て、収穫し、食べる」体験を通して、五感で味わおうという視点で昨年からはじめた喜多見のシェア畑『経堂保育園ファーム』も、2年目を迎えました。

去年は、春夏に「トマトやオクラ」、秋冬には「かぶや大根」など、大地の恵みをたっぷりいただくことができました。今年も豊作を願いながら、土づくりや種まきを行った4・5月の様子をお伝えします。

4月 土づくり

まず職員が畑に出かけ、種や苗を植えるために大切な土作りをしました。畑の方に教えていただきながら、作物の種類に合わせて、たい肥（油かす・鶏糞・牛糞）を土に加えて、鍬で耕していきます。次に、種や苗を植えるための畝（うね）を作ります。畝の形が整ったら、ビニールを掛けます。これをマルチ掛けと言います。畝を作り高くすることで水はけがよくなり、マルチ掛けをすると、水分の蒸発を防いで保湿や雑草が生えにくくなる効果があるそうです。



お手本を見せても
らい職員も挑戦。
まっすぐに整える
のが難しい…



完成！ すぐに
植えたくになりますが
土に栄養がいきわたる
まで、2週間は寝かせ
ます。

5月 種まき

はじめて畑へ
楽しみだね！



2週間寝かせて土が整った頃をみて、きりん組が畑に出かけ、種をまきました。今回は、枝豆の種まきです。畑の方が、ペットボトルのふたを使って土に穴をあける方法を教えてくれました。枝豆は1つの穴に種を2つまくことで生育が良くなり、収穫量も増えるそうです。小さな種をそっと手の平に乗せて、「いち・に」と数えて2粒を植え付けていきます。暮らしの中で、物の扱い方や数にふれ、興味を持って関わりながら、自然に理解が深まっていく感じが感じられました。



おおきくなったら、みんなに
たべさせてあげたいね。



畑仕事の後は、「ごくろうさま」と、農園の畑に実ったいちごを収穫させていただきました。畑仕事後の採れたていちごの味は格別だったようです



あまくて
おいしい

次回は、職員がピーマンの苗を植えに行きます。枝豆がどのくらい大きくなっているでしょう。様子をお知らせしていきますので、みなさまも、収穫の日を楽しみにしてください。